

NEWS 1

土藤商店、土藤蔵ギャラリーが登録まち遺産になりました

土藤商店は明治20年(1887)創業の老舗の酒屋です。母屋と蔵(ギャラリーとして開放)が風情のある、現在も家業を営む旧町内のランドマークの一つともいえるまち遺産の一つです。この度、所有者の同意があり平成31年1月に「下田登録まち遺産」となりました。今後、簡易的な修繕等でも市がお手伝いすることが可能となります。

上写真/土藤蔵ギャラリーの中。昔の看板や雑貨などが飾ってあり、観光客が立ち寄れるようにしてあります。下写真/土藤商店の外観。側面に伊豆石が使われていることが確認できます。綺麗に残っている昔ながらのホーム看板も魅力的です。



NEWS 2

尾ヶ崎ウィング周辺の樹木を伐採し、眺望が良くなりました



樹木の伐採前

下田市の入口「尾ヶ崎ウィング」の眺望を妨害していた樹木を伐採し、美しい海岸線となり、景観がますます綺麗になりました。この伐採は東京オリンピックなどを控え、伊豆半島全体で美しい景観を目指す「伊豆半島景観形成行動計画」の中に位置づけられているもので、今後も様々な形で取り組んでいきます。



樹木の伐採後

※表紙の尾ヶ崎ウィングの眺望は伐採後の写真です。ぜひ、現地をご覧ください。

下田市歴史的風致維持向上計画を策定し、国の認定を受けました

本計画は、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称「歴史まちづくり法」)に基づくものです。下田固有の歴史文化資産が織り成す「歴史的風致」を守り育て、未来へ引き継ぎ、美しく風格ある都市を創生し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行うため、下田市歴史的風致維持向上計画を策定しました。今後は、本市が有する歴史文化資産を活かしたまちづくりを積極的に進めていきます。

下田市の歴史的風致 ご紹介

1. 湊町の下田八幡神社例大祭にみる歴史的風致



下田八幡神社例大祭は、寛永4年(1627)に第2代下田奉行の今村伝四郎正長が、町の人々の意気の高揚と町の活性化を目的に始めたといわれています。

2. 黒船祭にみる歴史的風致



幕末の日本開国の舞台となった下田港周辺では、日米交流を成す黒船祭が昭和9年(1934)から行われています。

3. 稲梓地域の祭礼にみる歴史的風致



稲梓地域では、落合地区の高根白山神社の鬼射などの祭事が地域の人々によって代々大切に受け継がれてきました。

4. 天草漁をはじめとする磯浜の営みにみる歴史的風致



天草漁は代々受け継がれてきた産業であり、その経験と知恵は現在でも継承されています。

5. 蓮台寺温泉にみる歴史的風致



蓮台寺温泉では、湯を受けた神様を「上の湯権現」、「下の湯権現」として社に祀り、湯権現祭を開催しています。

「歴史的風致」とは

地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境(地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律 第1条より)

地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動

その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地

一体となって形成された良好な市街地の環境